

特集

# 園芸生産拡大の取組について



ねぎの点滴かん水システム導入実証（園芸産地強化支援事業）



WCS用稲跡でのカリフラワー栽培（新潟スタイル園芸確立支援事業）

本県の園芸は、農林業センサスによると作付面積は微減にとどまっているものの生産者数が減少しており、園芸の生産拡大に向けては、生産の中核である既存産地の体質強化が重要であると考えています。

このため、県では平成26年度から、担い手の確保や生産性の向上など、各産地が抱える課題を解決する取組への支援を行っており、これまでに41産地が体質強化に取り組んでいます。

また、稲作経営体の所得向上に向けて、平成27年度から、水田や水稲育苗ハウス等の稲作経営資源を活用した「新潟スタイル園芸」の導入を重点的に推進し、これまで154経営体が稲作跡のたまねぎやブロッコリー、水稲育苗後のトマトの養液栽培に取り組んでいます。

併せて、園芸の規模拡大や新規導入に向けて新潟県農林水産業総合振興事業により施設や機械の整備についても支援しています。

今後も園芸産地の発展に向け、園芸生産拡大の取組を推進していきますので、園芸に取り組みたい方はお近くの地域振興局（普及指導センター）へお気軽にご相談下さい。

【農産園芸課 吉川 忠宏】